

No. 1674

田村選手帝京大へ

—東京—

全日本柔道連盟では「95年世界柔道選手権日本大会」の成功に向けての行事として「日本柔道の夕べ」を11月16日都内のホテルで開催しました。

加納会長の参会者への感謝のあいさつのもと、先のカナダでの世界選手権で優勝した金メダリスト4人に特別昇段表彰が行われ、女子46キロ級の田村亮子選手は2段から3段に昇段しました。

来年大学進学を迎えた田村選手は「将来、世界で柔道を教えたい」という希望から、受け入れ準備の整った帝京大学に志望校を決めました。

田村選手が地元福岡から巣立つとあって激励にかけつけた小倉祇園太鼓の皆さんと記念撮影。

18日、板橋区の帝京大本部に経済学部推薦入試の願書を提出する田村選手。28日受験、30日合格発表の予定です。

来年4月から大学生になる「YAWARAちゃん」の活躍を楽しみにしたいものです。

大道芸で町おこし

—静岡市—

世界の大道芸が技とユーモアを競う「大道芸ワールドカップイン静岡1993」が11月3日から7日まで静岡市で開かれました。

「全国どこにもないワールドカップを」と総額1億5千万円をかけたイベントで観光資源に乏しい静岡市が町の活性化のために昨年からはじめたもの。

参加したのは13ヶ国61組89人で市内の道路や駿府公園などで、即席の演技が披露されました。

3メートルの高さにもなるスティルト（高足）を器用にこなしているのは、オーストラリアから来た芸人たち。とても高足とは思えない華やかな動きは迫力満点でさかんな拍手がとんでいました。

昨年第1回のチャンピオンになった雪竹太郎さんも特別参加。見物人を参加させながらロダンの「考える人」などのパフォーマンスで人気を呼んでいました。

5日間で昨年より60万人も多い169万人を集めた大道芸の祭典は町おこしの行事として年ごとに育っていくようです。